

第3回
テーマ

生薬栽培の現状と課題

滋賀バイオプロジェクト創出サロン

研究者と企業が気軽に意見交換をすすめ、技術シーズとマーケットニーズを結びつけて、新しいビジネスにつながるバイオプロジェクトを立ち上げるきっかけづくりがこの「滋賀バイオプロジェクト創出サロン」です。

研究者や企業のシーズ・ニーズ、事業の方向性などについて発表いただき、気軽な雰囲気での質疑応答を通じて、プロジェクト創出を目指します。

今年度は新しい1次産業の可能性をテーマに、様々なシーズや現状、市場の可能性といった視点から、研究者・企業等からお話いただきます。興味のある参加者とはプロジェクトとして継続的に勉強会の実施などを行ってまいります。ご興味のある方は是非ご参加ください。

日時 2016年 **2**月**18**日 **木**
15:00～17:00（開場14:30～）

会場 **長浜バイオ大学** 命北館1階 セミナー室
（JR 田村駅下車すぐ）

会費 **無料**

プログラム

▶ **研究者発表** 15:00～16:00

「富山県における薬用作物の栽培振興と
シャクヤク・トウキ等の薬用植物栽培について」

● 講師 **田村 隆幸 氏**
（富山県薬用植物指導センター 主任研究員）

▶ **意見交換会** 16:00～17:00

立命館大学で生薬の研究をされている田中謙教授と講師の田村先生を交えての意見交換会です。
参加いただいた皆さんから、今回の講演内容だけでなく、生薬全般についての質問や幅広い意見を伺いたいと思います。



講演要旨

漢方薬や生薬配合製剤の原料となる薬用植物の栽培は、我が国の医療の維持と充実のためには必要不可欠です。

近年、栽培振興や産地化に向けての機運が高まっていますが、生産物は医薬品としての品質規格が求められ、出荷先が限られます（一部の植物は条件を満たせば食品への利用も可能）。

また、超マイナー作物であることから登録農薬は極端に少なく、機械化も不十分のため労働時間がかかる一方で、薬価制度の関係で出荷額の上昇は困難です。

本発表では、薬用作物栽培振興に係るこれらの各種課題に対する富山県の取組みと、本県で栽培されるシャクヤク及びトウキの栽培方法をご紹介します。

問い合わせ先



一般社団法人バイオビジネス創出研究会

TEL : 0749-65-8808 FAX : 0749-65-8858 MAIL : info@biobiz.jp

参加申込書

申込締切 2/16

ふりがな 氏 名	所属名 役 職	
ふりがな 氏 名	所属名 役 職	
ふりがな 氏 名	所属名 役 職	
団体名		
住 所 (〒 -)		
Tel	Fax	E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、当イベントの参加の確認、主催者からの各種催し物のご案内など情報の提供や催し物等に参加いただいた方の調査分析にのみ使用いたします。

FAX 0749-65-8858 でお申込みください。